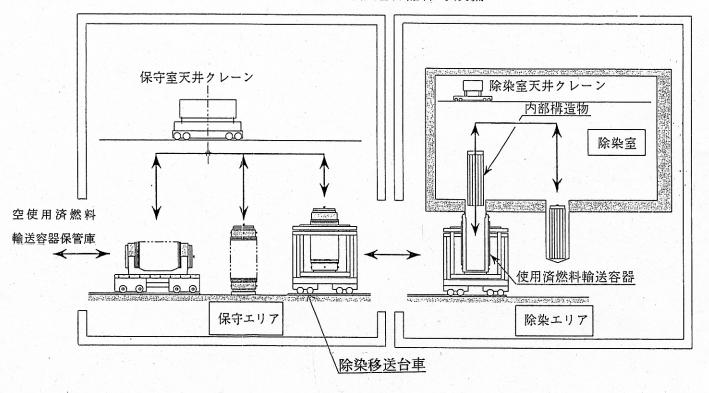
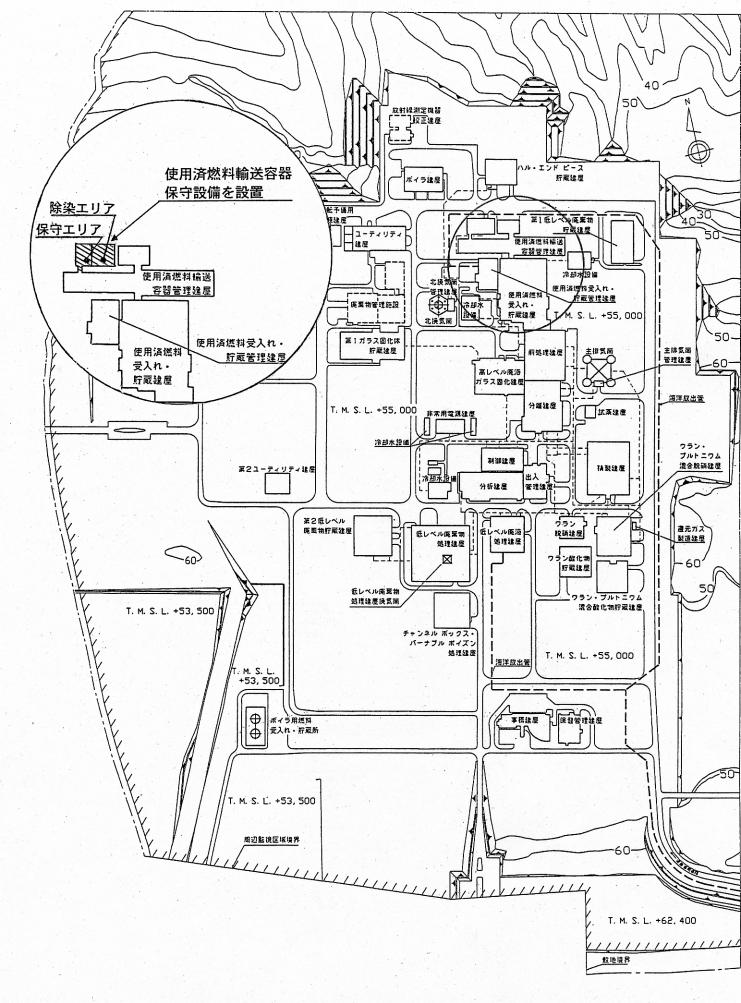
使用済燃料輸送容器保守設備



	概	要	空の使用済燃料輸送容器について、気密性確認、キャスク内部除				
	113/1	安	染等の検査・点検を行う施設。				
			建築面積 :約 1,300m2 (約 26m×約 48m)				
			構造:				
			(保守エリア)				
			地上2階地下1階(地上高さ約21m)				
設備概要	建	屋	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造)				
双順			(除染エリア)				
			地上3階地下1階(地上高さ約16m)				
			鉄筋コンクリート造				
			保守室天井クレーン 1台				
	主要	E設備	除染移送台車 1台				
			除染室天井クレーン 1台				



使用済燃料輸送容器保守設備の設置位置

変更前 (H15.9.19付け工事計画)

五、再処理施設の工事計画

华成年度	4	5	6	7	8	9	10	11
W II	4 8 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 T 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 11 1 2 3	4 5 6 7 8 9 38 11 12 1 2 3	4 5 6 T 8 9 10 H H 1 2 3	4 5 6 7 8 9 3 11 12 1 2 3	4 8 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 20 11 12 1 2
主要工程		★ 着						▲ 再 見 の 理 車 発 発 発 発 発 発 発

1	平成年度	12	13	14	15	16	17	18
項:		4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 11 1 2 3	4 5 6 7 6 9 30 21 22 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 1 2 3	4 5 6 7 8 9 30 11 11 2 3	4 5 6 7 8 9 34 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
主 要	工程				▲ウラン試験開始	▲使用済燃料による		▲ L ψ λ T

- (注) (1) 使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の試験のために、使用済燃料(約50 t・Upr)を受け入れる。
 - (2) ウラン試験は、天然ウラン又は劣化ウランを用いた模擬燃料集合体等(約 60 t·U)を使用して行う試験をいう。
 - (3) しゅん工とは、再処理設備本体等に係る使用前検査の合格をいう。
 - (4) 使用済燃料輸送容器保守設備及びそれに係る設備は、再処理事業開始後4年以内に設置する。(5) 第1ガラス固化体貯蔵途屋西棟及び西棟に係る施設は、しゅん工後3年以内に設置する。

変更後

五、再処理施設の工事計画

华战年度	4	5	6	7	8	9	10	11
H H A	4 6 6 7 9 9 10 11 12 1 2 3	4 1 4 7 8 9 19 2 2 1 2 3	4 1 6 7 8 9 18 11 1 2 3	4 5 8 7 8 9 18 11 22 3	4 1 6 7 8 9 m m m 1 2 3	4 8 4 7 8 9 10 11 11 2 3	4 5 6 7 8 9 20 11 12 1 2 3	0 5 6 7 9 9 10 11 12 1 2
世 更 工 程		工						▲ 再処理 開業 始業

平成年度	12	13	14	15	1.6	17	18	
A II H	4.5 6 7 9 9 m = 1 1 2 3	4 9 6 7 8 9 10 11 11 2 2	4 5 6 7 8 9 = 11 11 1 2 3	4 5 6 7 6 9 m 11 11 1 2 3	4 8 6 T 8 9 DE 11 12 1 2 3	4 2 6 7 8 8 2 11 12 1 2 2	4 5 6 7 4 0 10 11 to 1 2 1	
主要工程				ッラン飲験雑址	使用済燃料による		ь	

- (注) (1) 使用清燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の試験のために、使用清燃料(約50 t+Upr)を受け入れる。
 - (2) ウラン試験は、天然ウラン又は劣化ウランを用いた模擬燃料集合体等(約 60 t·U)を使用して行う試験をいう。
 - (3) しゅん工とは、再処理設備本体等に係る使用能検査の合格をいう。
 - (4) 使用済燃料輸送容器保守設備及びそれに係る設備は、再処理事業開始後50か月以内に設置する。
 - (5) 第1ガラス固化体貯蔵建屋西棟及び西棟に係る施設は、しゅん工後3年以内に設置する。